

第4章 市民等の意向

市民及び交通事業者を対象にしたアンケートを実施し、道路・交通の現況やこれまでの道路整備等における課題、今後の道路整備に対する要望等を把握した。

4.1 調査概要

4.1.1 市民アンケート

(1) 実施目的

本市における今後の道路整備について、幅広く市民の意向を把握することを目的とする。

(2) 実施期間

平成25年12月20日(金)～平成26年1月10日(金)

(3) 調査方法

郵送による自己記入式アンケート

(4) 調査対象

調査対象は20歳以上の市民とし、住民基本台帳から無作為^{※1}に抽出した2,100人にアンケート用紙を配布した。なおこの配布対象数は、本市で行われた過去のアンケートの実績より、回収率を約50%^{※2}と想定し、以下の根拠に基づいて設定した。

※1 層化無作為抽出法による ※2 IC名称変更にかかる意向調査H23(回答率:48.8%)

<配布対象数2,100人の設定根拠>

統計学的手法を用いて、次式より、必要なサンプル数(n)を設定した。

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{d}{\lambda}\right)^2 \frac{N-1}{p(1-p)} + 1}$$

N : 母集団 →79,379人(平成25年10月6日施行の市長選挙時点)

d : 標本誤差 →0.03(3%までの誤差を許容)

λ : 信頼係数 →1.96(信頼水準を95%とした場合の値)

p : 回答比率 →0.5(最も誤差の大きくなる値)

n ≒ 1,000

nを満たすために必要な配布対象者数=1,050÷0.5

≒2,100

(5) 調査票

- ・調査内容：以下4-3～4-6ページ参照
- ・調査用紙：A3用紙2枚重ね中折A4仕上げ

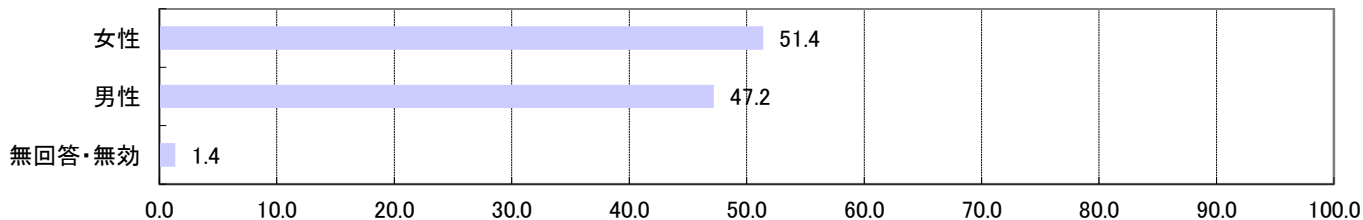
(6) 回答数

1,023通(回収率:48.7%)

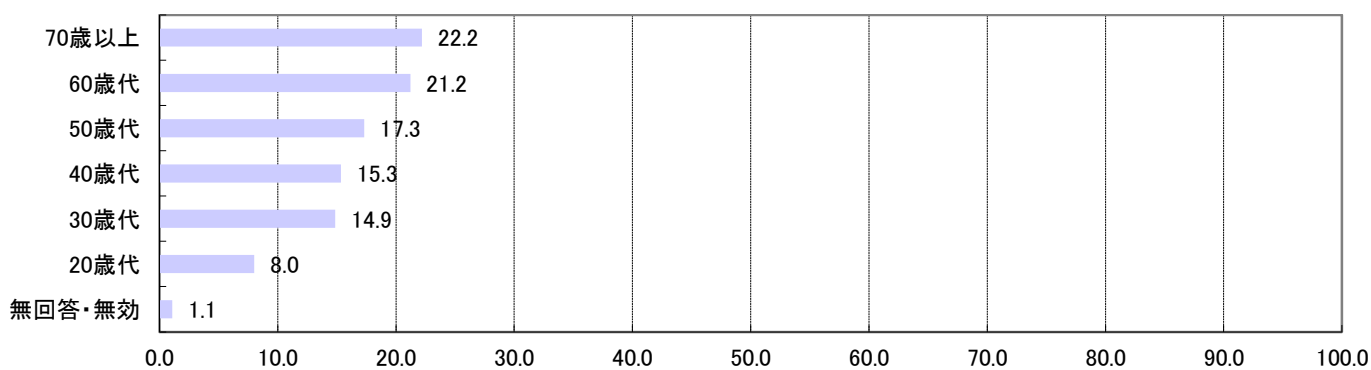
(7) 属性別の回答率

回答者の属性として把握した性別、年代及び居住地域の各回答率は、それぞれ下の各グラフに示すとおりである。

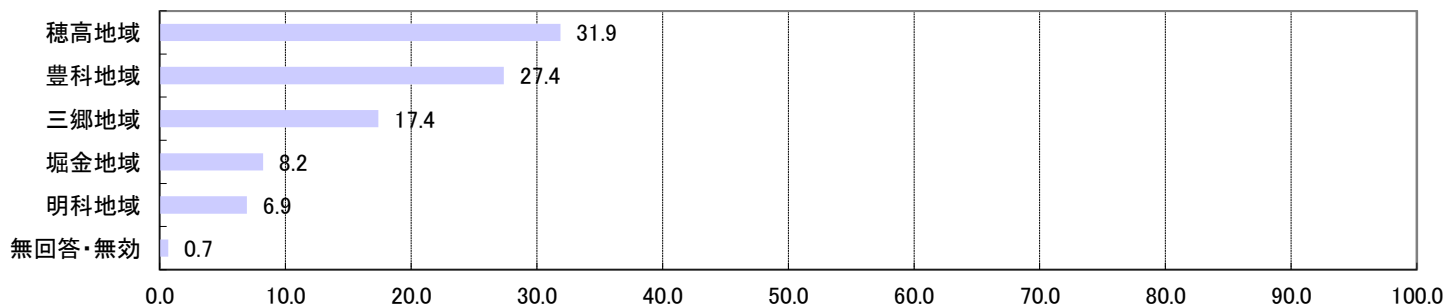
① 属性



② 年代



③ 居住地域



安曇野市の道路整備に関するアンケート

【調査の目的】

安曇野市は、合併後、国土利用計画や安曇野市都市計画マスタープランをはじめ、まちづくりの大きな方向性を示す計画を策定してきました。

これらの計画に基づいて、安曇野市の適正な土地利用に関する条例を施行し、土地利用の適正化を図るとともに、土地利用と密接に関連する道路整備に関しては、幹線市道を対象にした整備計画の策定や、歩道・自転車道のネットワーク化の観点から整備の重要度の高い路線の検討などを進めてきました。

それらの計画や検討内容を踏まえ、今後の道路整備をより効果的かつ効率的に進めていくためには、土地利用の方向性を踏まえながら、これまでに策定・検討してきた各種道路整備計画の内容を整理し、国道・県道・市道あるいは自動車・自転車・歩行者の交通を総合的に捉えた上で、整備の必要な区間とそれらの整備優先度をより明確に示す計画が求められています。

本アンケートでは、道路整備に関する市民の皆様のお考えをお聞かせいただき、お寄せいただいたご意見を参考に、今後の計画検討を進めていく予定です。

なお、本アンケートは市内に居住されている20歳以上の方の中から、無作為に抽出した約2,000人の皆様に配布させていただき、ご回答のお願いをしております。ご記入の方法などにつきましては、下の破線枠内をご一読ください。

今後の安曇野市のよりよい道路整備のために、何卒ご協力をお願いいたします。

ご記入の方法などについて

- ・設問は、全部で**問1～問12**（本ページ含まず）までございます。最後のページまでご回答いただきますようお願いいたします。
- ・回答に際しては、あなた自身の率直なお考えをお聞かせください。
- ・各設問の選択肢から、あなた自身の考え方に近いものを選び、**設問ごとに、定められた数の範囲内で、該当する番号に○を付けてください。**
- ・調査票は無記名で統計的に処理いたします。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することはございません。
- ・ご記入いただきました調査票は、**同封の返信用封筒にお入れいただき、切手は貼らずに、平成26年1月10日(金)**までにご返送ください。

※このアンケートに関するお問合せ先

安曇野市 都市建設部 都市計画課 計画係 係長：山浦 担当：田中

TEL：0263-72-3111（内線1253）

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

（年末年始期間中 12/28～1/5 までの間は休み）

4.1.2 交通事業者アンケート

(1) 実施目的

本市における今後の道路整備について、交通事業者から現状や課題等をより具体的に把握することを目的とする。

(2) 実施期間

平成 26 年 1 月 20 日 (月) ～2 月 3 日 (月)

(3) 調査方法

郵送による自己記入式アンケート

(4) 調査対象

- ・市内の運送業者・タクシー事業者
- ・運送業者 18 社 (ドライバー300 人分送付)
- ・タクシー事業者 4 社 (ドライバー200 人分送付)

(5) 調査票

- ・調査内容：以下 4-8～4-11 ページ参照
- ・調査用紙：A 3 用紙 2 枚重ね中折 A 4 仕上げ

(6) 回答数

133 通 (回収率：26.6%)

<内訳>

- ・運送会社：61 通
- ・タクシー会社：61 通
- ・その他：1 通
- ・無回答：10 通

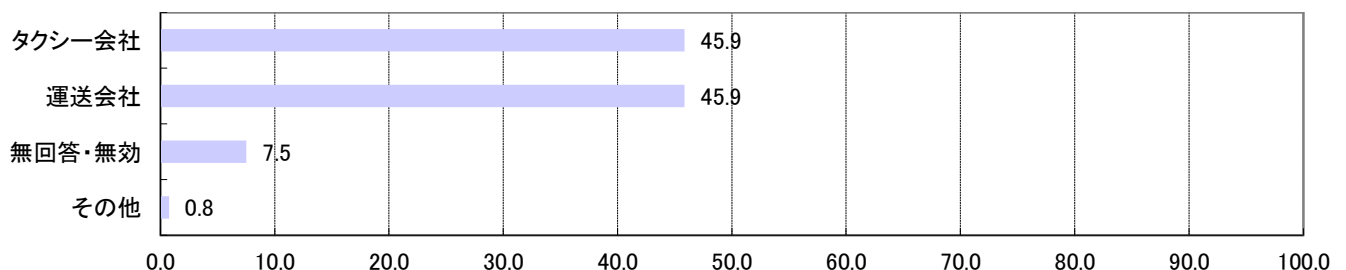
配布先事業者リスト

| 運送業者 | ドライバー数 |
|-----------------|--------|
| 明科陸運(株) | 40 |
| 安曇野流通 | 5 |
| アート梱包運輸(株)松本営業所 | 20 |
| アルプス急配 | 4 |
| 臼杵運送(株)長野営業所 | 39 |
| サンシンエキスプレス(株) | 50 |
| (有)スター物流 | 5 |
| (有)太陽運送 | 5 |
| 鳥羽急送(有) | 3 |
| 中村運輸(有) | 3 |
| 三枝運送店 | 3 |
| メイコー運輸(株) | 20 |
| 米倉急送 | 3 |
| ヤマト運輸(株) 豊科センター | 35 |
| ヤマト運輸(株) 穂高センター | 20 |
| ヤマト運輸(株) 明科センター | 20 |
| アイビーアイ物流(株) | 15 |
| 日本通運(株)松本支店 | 10 |
| 合計 | 300 |

| タクシー事業者 | ドライバー数 |
|----------|--------|
| 南安タクシー | 50 |
| 安曇観光タクシー | 50 |
| 明科第一交通 | 50 |
| (株)バイタル | 50 |
| 合計 | 200 |

(7) 属性別の回答率

回答事業者の属性として把握した業種別の回答率は、下のグラフに示すとおりである。



安曇野市の道路整備に関するアンケート

【調査の目的】

安曇野市は、今後の道路整備をより効果的かつ効率的に進めていくために、国道・県道・市道のすべてを対象に、今後整備が必要な区間と整備優先度の明確化を図る計画づくりを進めています。

本アンケートは、市内の運輸関連の事業者の方を対象に、道路整備の現状や今後の方向性に対するお考えを伺うために実施するものです。

下記の記入方法をご一読のうえ、何卒ご協力くださいますようお願いいたします。

ご記入の方法などについて

- ・設問は、全部で**問1～問11**までございます。最後のページまでご回答いただきますようお願いいたします。
- ・回答に際しては、あなた自身の率直なお考えをお聞かせください。
- ・選択回答の設問については、あなた自身の考え方に近いものを選び、**設問ごとに、定められた数の範囲内で、該当する番号に○**を付けてください。
- ・調査票は無記名で統計的に処理いたします。ご記入いただいた調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することはございません。
- ・ご記入いただきました調査票は、**同封の返信用封筒にお入れいただき、切手は貼らずに、平成26年2月3日(月)**までにご返送ください。

※このアンケートに関するお問合せ先

安曇野市 都市建設部 都市計画課 計画係 係長：山浦 担当：田中

TEL：0263-72-3111（内線1253）

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

問1 あなたがお勤めなっている会社の種類を教えてください（いずれか一つに○を）。

① タクシー会社（勤務で主に運転されるものを下記から選んで○をしてください。）

A タクシー B デマンドタクシー・バス C 貸切バス D その他

② 運送会社 _____

③ その他（ _____ ） → { 2 ページの問4へ
お進みください。

（問1で①のタクシー会社を選択された方のみ）に伺います）

問2 タクシーの利用は、どのような方が多いですか（いずれか一つに○を）。

① 市民又は近隣市町村の住民の利用がほとんど

② どちらかという市民又は近隣市町村の住民の利用が多い

③ どちらかという観光客の利用が多い

④ 観光客の利用がほとんど

⑤ 市民又は近隣市町村の住民と観光客の利用が同じくらい

(問1で①のタクシー会社を選択された方のみ)に伺います)

問3 タクシー利用者の行き先として、その方の自宅以外に多いのはどこですか(当てはまるものすべてに○を)。各選択肢において、特定の施設名等があれば、それぞれの選択肢の右側の()内にご記入ください。

- ① 駅(上位3つまで_____、_____、_____)
- ② 公官庁(上位3つまで_____、_____、_____)
- ③ 病院(上位3つまで_____、_____、_____)
- ④ 福祉施設(上位3つまで_____、_____、_____)
- ⑤ 商業施設(上位3つまで_____、_____、_____)
- ⑥ 観光施設(上位3つまで_____、_____、_____)
- ⑦ その他(上位3つまで_____、_____、_____)

問4 安曇野市の道路の利便性・快適性に対する満足度をお聞かせください(いずれか一つに○を)。

- ① 満足している ② まあまあ満足している
- ③ やや不満である ④ 不満である ⑤ わからない

問5 安曇野市内で、不足していると感じる道路整備の内容として、当てはまるものを全てお選びください。

(※ 生活道路とは、お住まい周辺の比較的幅員が狭い市道等で、幹線道路とは、生活道路から他地区へ向かう国道、県道及び幅員が広い市道とお考え下さい。)

- ① 歩行者が安全かつ快適に通行できる歩道の整備
- ② 自転車に乗る人が安全かつ快適に通行できる自転車道の整備
- ③ 車で東西方向の移動がより円滑にできる幹線道路の整備
- ④ 車で南北方向の移動がより円滑にできる幹線道路の整備
- ⑤ 幹線道路につながる生活道路の整備
- ⑥ 渋滞の解消、円滑な通行を促す右折レーンの設置などによる交差点付近の改良
(具体的な交差点名： _____)
- ⑦ 傷んでいる路面の補修などの維持管理
- ⑧ 特にない ※他の選択肢とは同時選択不可
- ⑨ その他(_____)

問6 営業上、よく利用される安曇野市内の道路で、安全面において危険を感じる区間や交差点があれば具体的にお答えください。路線名のほか、区間が特定できれば起点と終点、交差点名等で下表にご記入ください。

| 路線名 | 起点(〇〇から) | 終点(〇〇まで) | 交差点名 |
|-----|----------|----------|------|
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |

問7 営業上、よく利用される安曇野市内の道路で、渋滞がひどいと感じる区間や交差点があれば具体的に教えてください。路線名のほか、区間が特定できれば起点と終点、交差点名等を下表にご記入ください。

| 路線名 | 起点（〇〇から） | 終点（〇〇まで） | 交差点名 |
|-----|----------|----------|------|
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |

問8 安曇野市内で、幹線道路として整備を優先すべき道路を、次の中から2つ以内で選びください。

- ① 安曇野市と大町市や上田市、佐久市など広域をつなぐ高規格道路
- ② 市内から隣接する他の市町村につながる幹線道路
- ③ 市内の旧町村間をつなぐ幹線道路
- ④ 旧町村の市街地内の幹線道路
- ⑤ 上記以外の幹線道路
- ⑥ 特にない

上記設問の①～⑤で選択した幹線道路で、特定の区間があればその区間（起点と終点）を、または特定の施設へのアクセス道路であればその施設名を、下表にご記入ください。なお、左欄には、上記問8で選択された番号を入れてください。

| 選択番号 | 起点（〇〇から） | 終点（〇〇まで） | 施設名 |
|------|----------|----------|-----|
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |
| | | ⇔ | |

問9 安曇野市内で、新規の路線として道路整備の必要性を感じる区間が具体的にあれば、その区間（起点と終点）を下表にご記入ください。

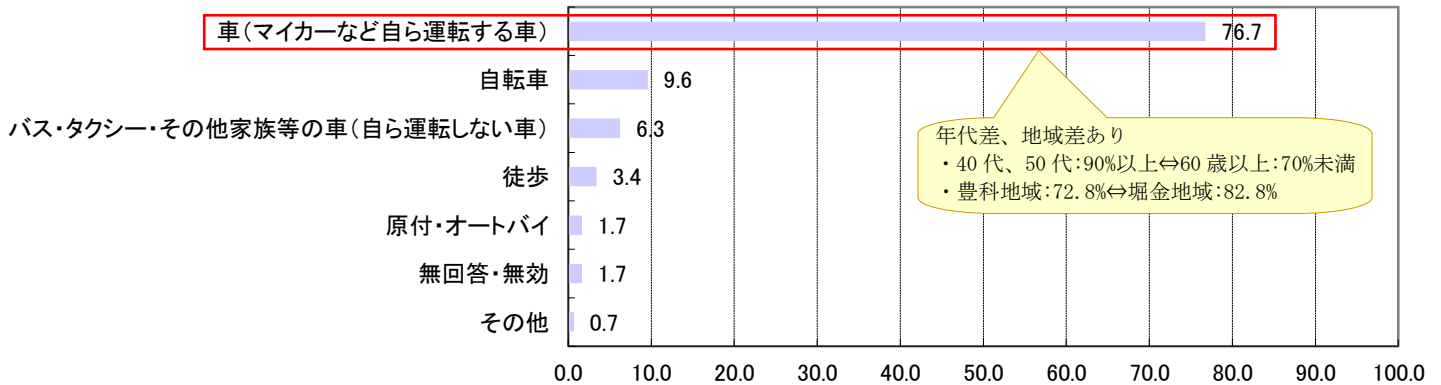
| 起点（〇〇から） | 終点（〇〇まで） |
|----------|----------|
| | ⇔ |
| | ⇔ |
| | ⇔ |
| | ⇔ |
| | ⇔ |

4.2 調査結果

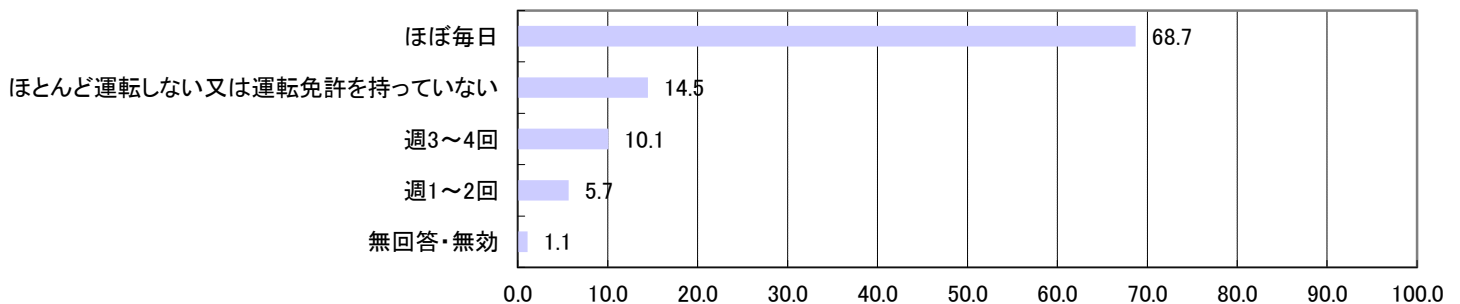
4.2.1 市民アンケート調査結果

回答者の属性を除く選択回答方式の各設問について、それぞれ回答の多かった項目順に並び替えた結果を以下グラフに示す。

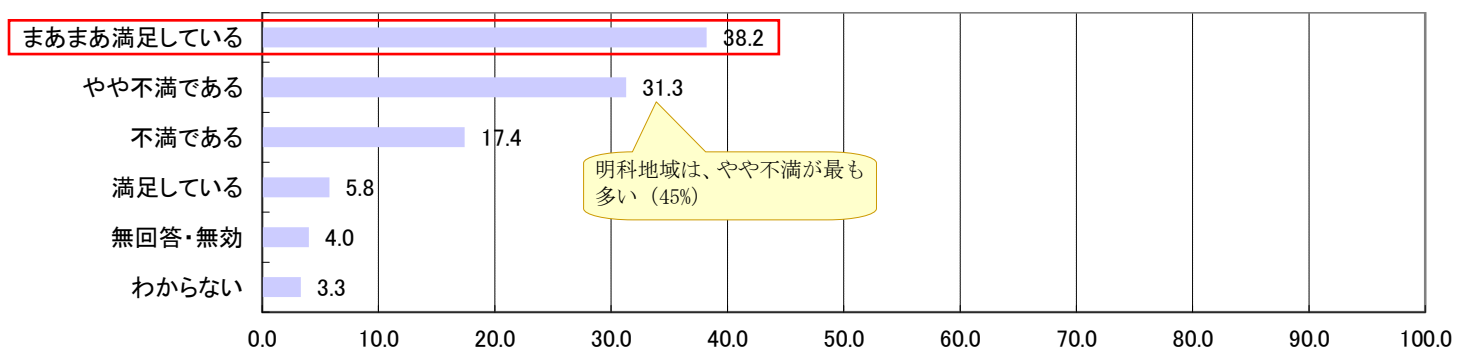
(1) 日常生活における鉄道以外の主な交通手段 →問4 (択一回答)



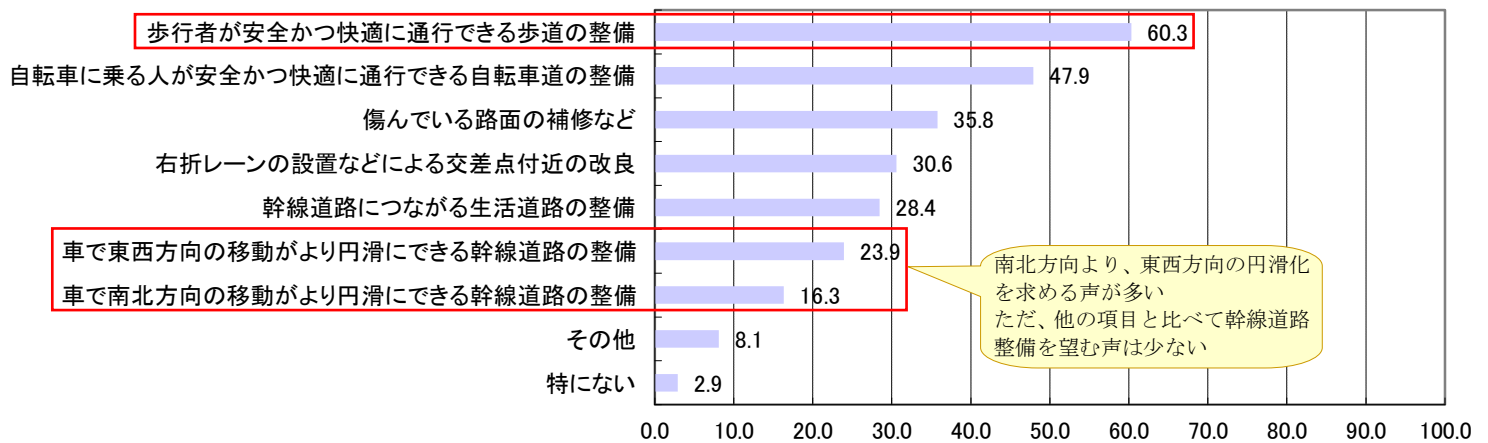
(2) 車の運転頻度 →問5 (択一回答)



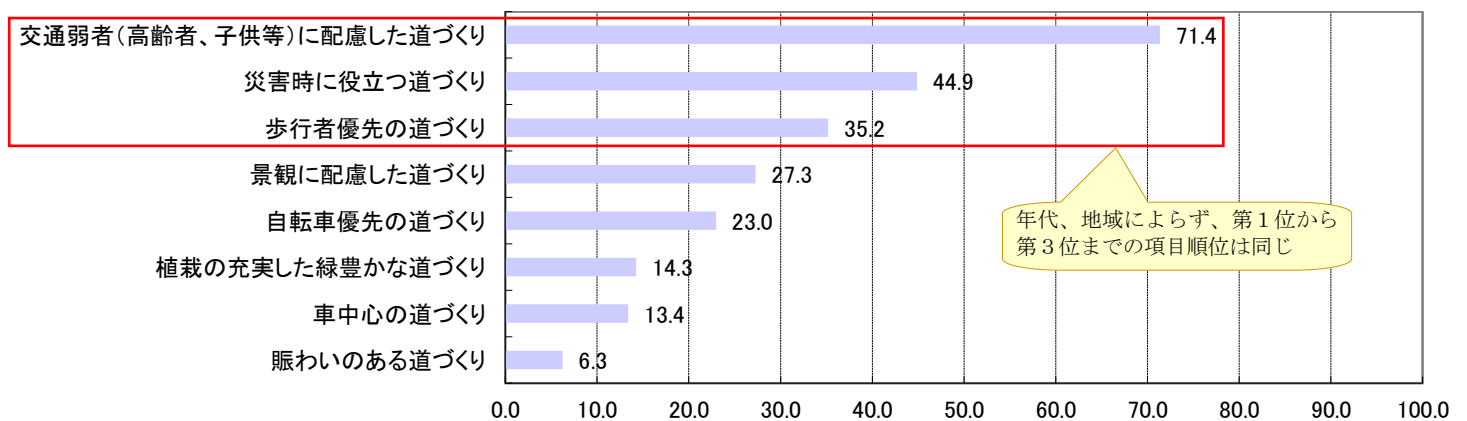
(3) 道路の利便性・快適性に対する満足度 →問6 (複数選択可)



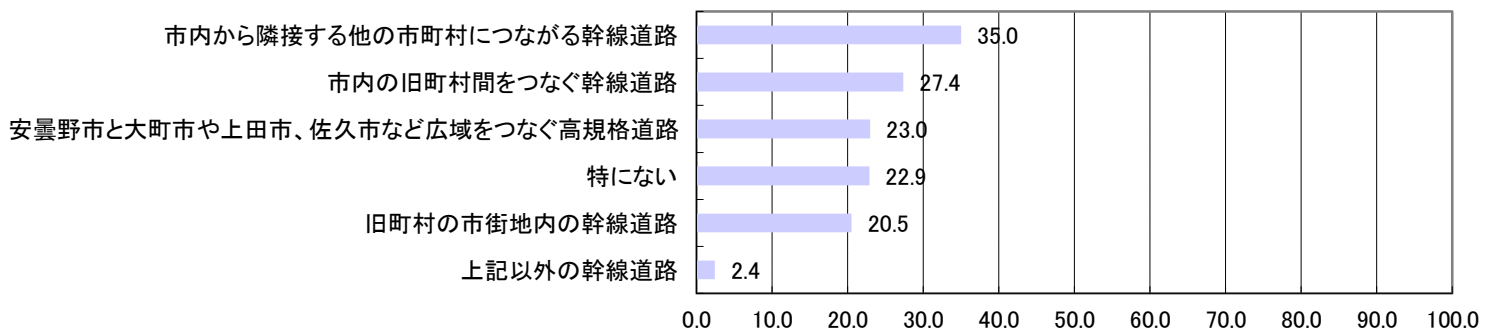
(4) 不足していると感じる道路整備の内容 →問7 (複数選択可)



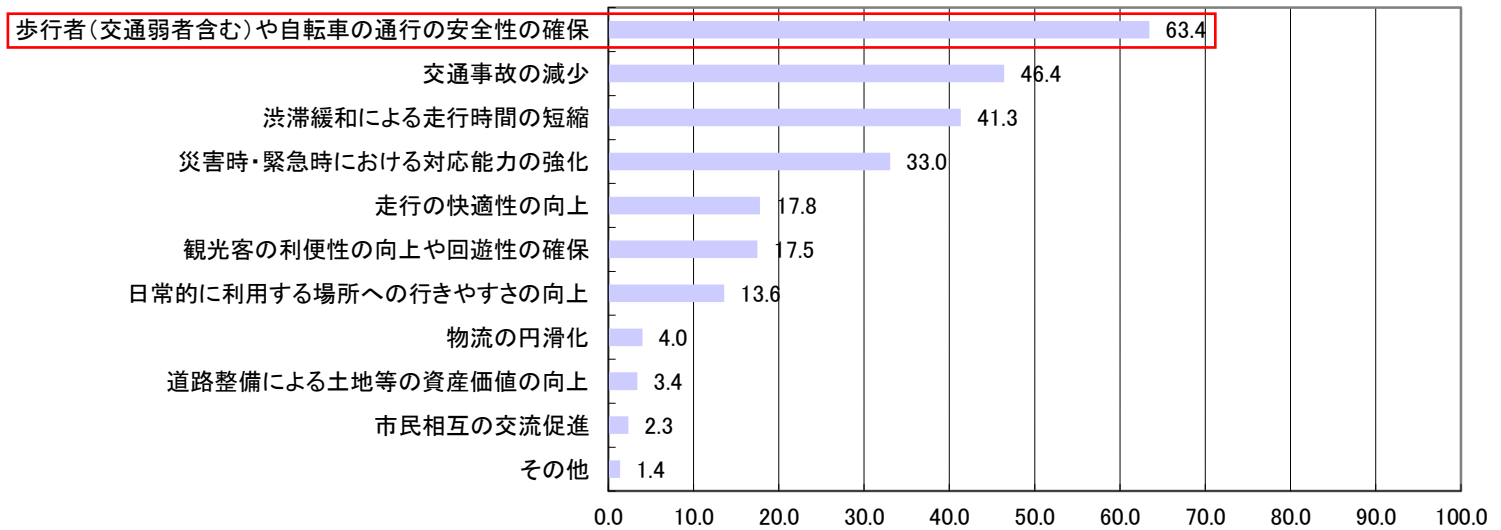
(5) 道路整備の方向性として重要なもの →問8 (複数選択可)



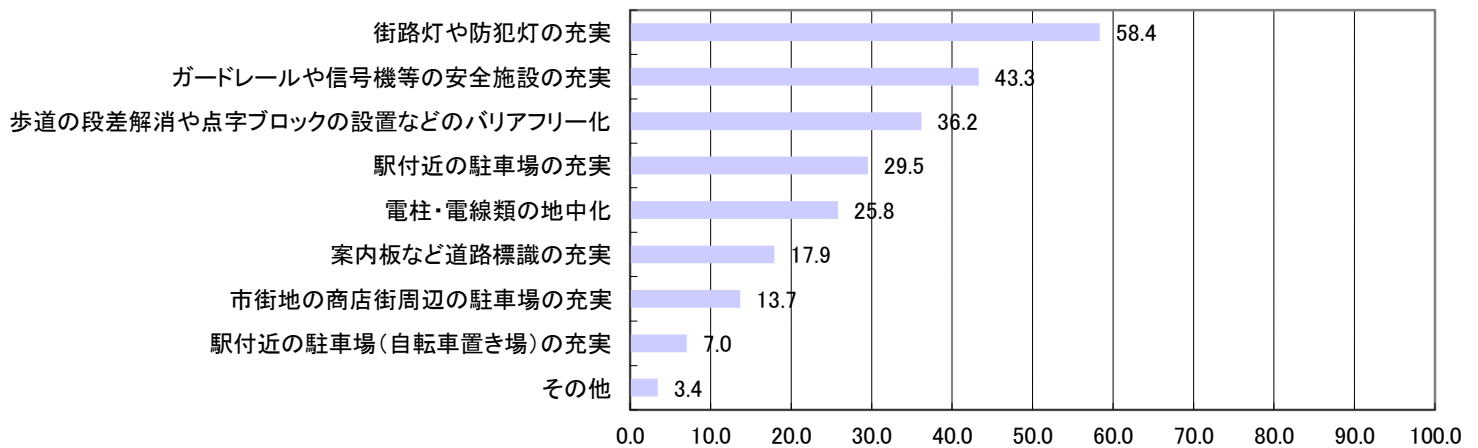
(6) 幹線道路として整備を優先すべき道路 →問9 (複数選択可)



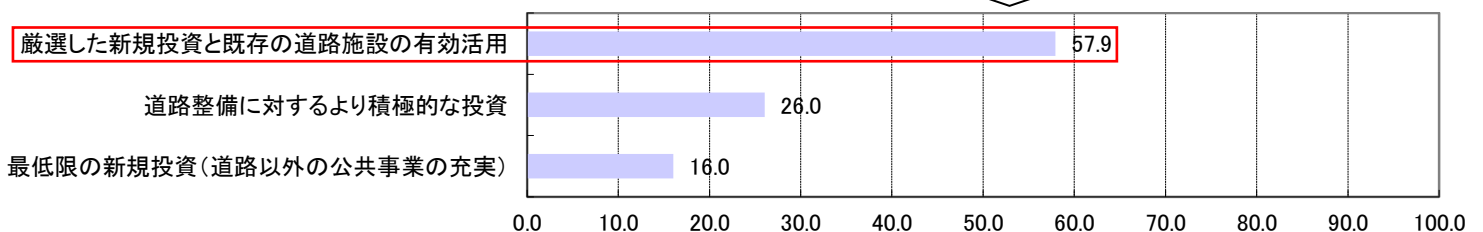
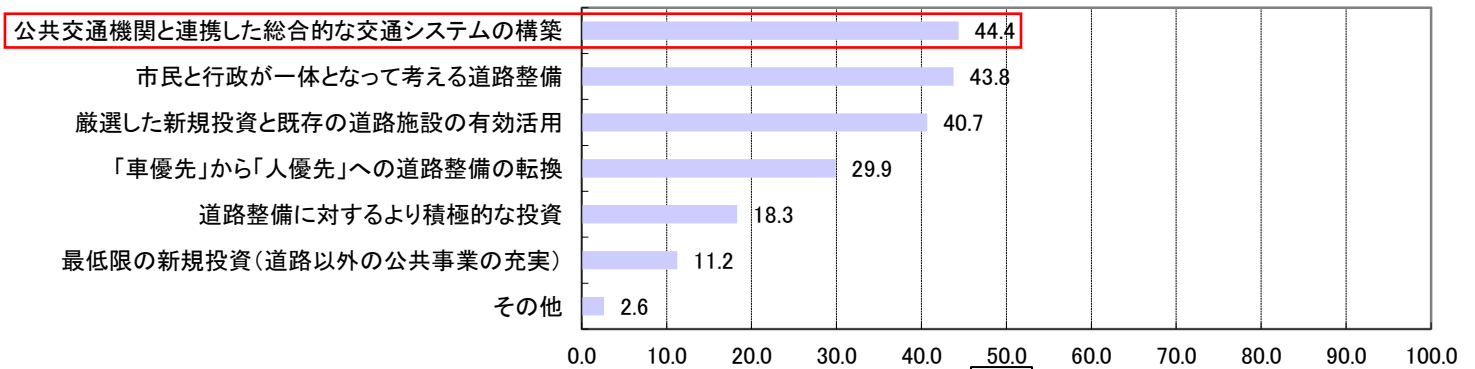
(7) 道路整備の効果として特に期待すること →問 10 (複数選択可)



(8) より充実させるべき道路関連施設 →問 11 (複数選択可)



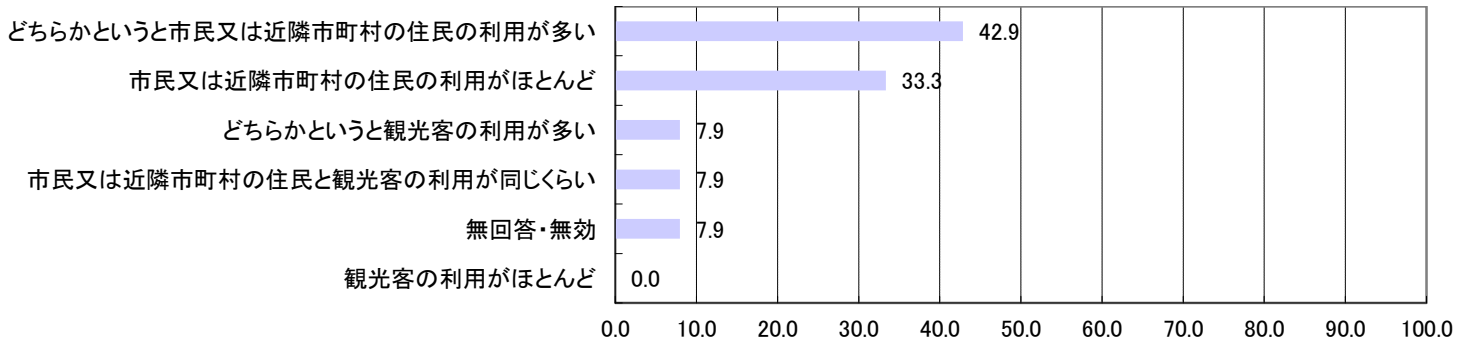
(9) 道路行政の取り組みにおいて重要なこと(投資のあり方) →問 12 (複数選択可)



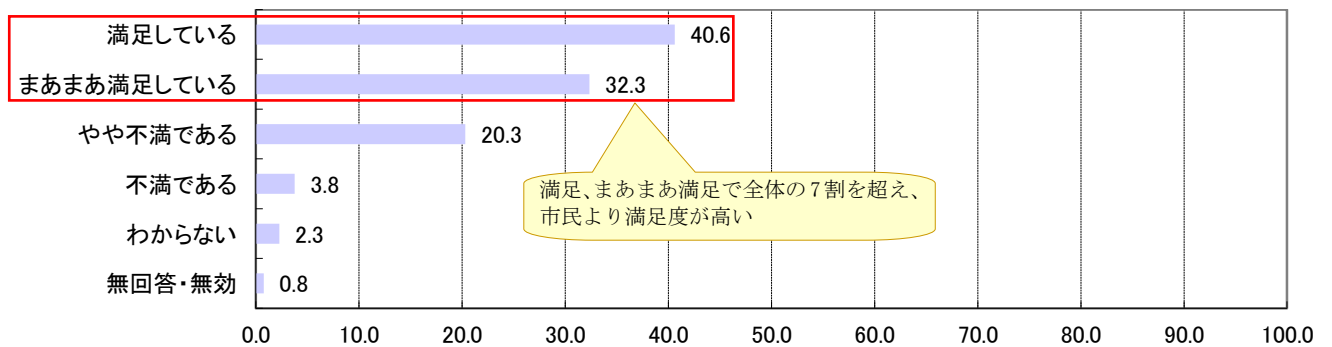
4.2.2 交通事業者アンケート調査結果

回答者の属性を除く選択回答方式の各設問について、それぞれ回答の多かった項目順に並び替えた結果を以下グラフに示す。

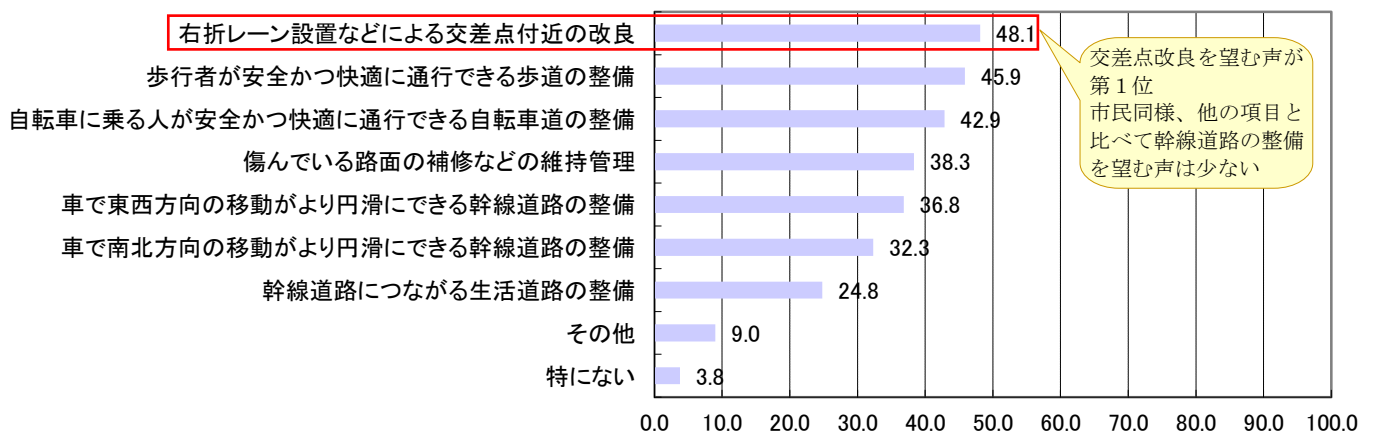
(1) タクシーの利用者 →問2 (択一回答)



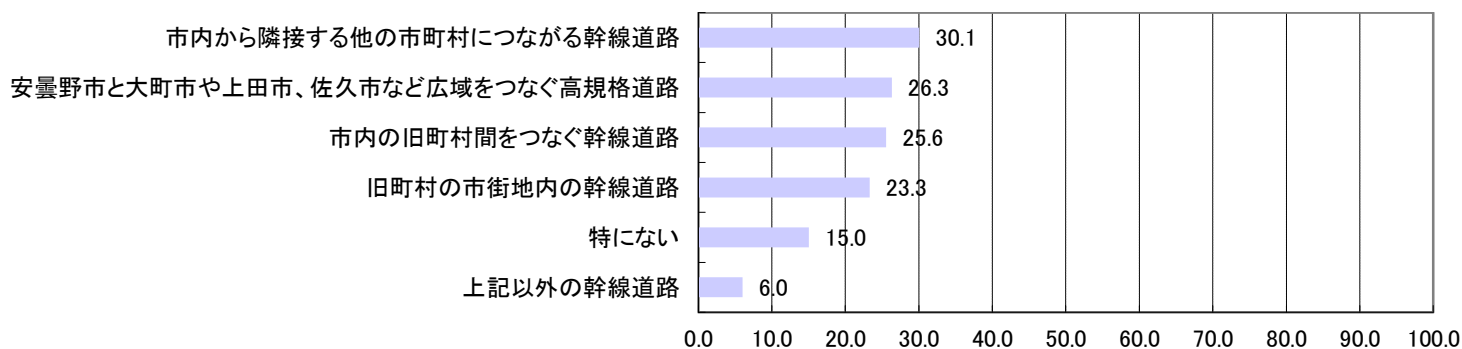
(2) 道路の利便性・快適性に対する満足度 →問4 (複数選択可)



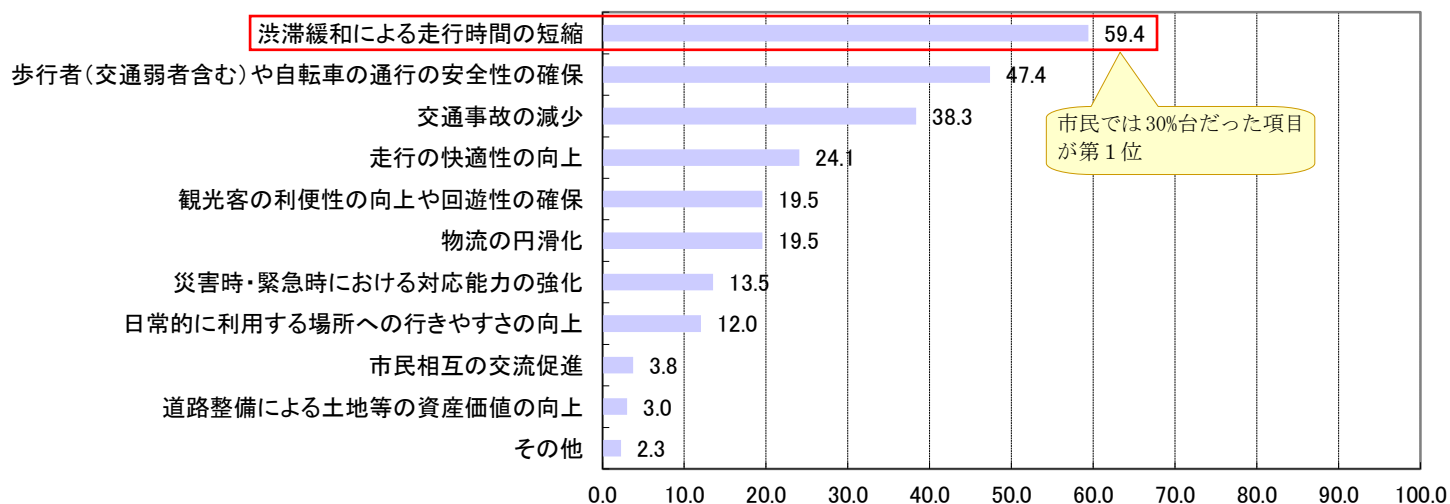
(3) 不足していると感じる道路整備の内容 →問5 (複数選択可)



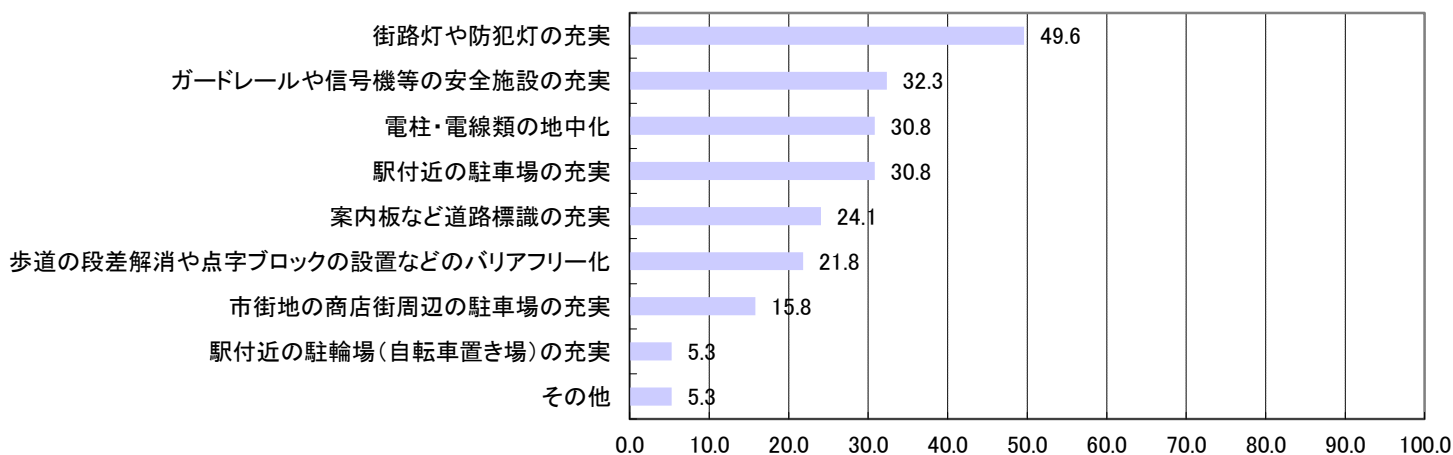
(4) 幹線道路として整備を優先すべき道路 →問8 (複数選択可)



(5) 道路整備の効果として特に期待すること →問10 (複数選択可)



(6) より充実させるべき道路関連施設 →問11 (複数選択可)



4.3 調査結果の分析

4.3.1 市民アンケートの結果分析

市民アンケートの調査結果をもとに設問ごとに回答率の高い項目などからそれぞれの内容に関する傾向を分析する。

(1) 日常生活における鉄道以外の主な交通手段 →問4 (択一回答)

全体ではマイカーと答えた人が75%以上を占めている。年代別にみると、40、50代が9割近くを占める一方、60歳以上は7割未満だった。地域別には、堀金地域が最も多く8割以上を占め、最も少ないのは豊科で7割強だった。また各地域ともに、市街地を含む地区に限定すると、6割台の地域もあり、最も少ない明科の市街地は60%だった。

マイカーに次いで多いのが自転車です。全体では10%程度だった。

(2) 普段車を運転する人の運転頻度 →問5 (択一回答)

ほぼ毎日と答えた人が全体の7割近くを占めている。地域差はさほどないが、年代別にみると、60歳以上では約5割、逆に40、50代では9割近くで、年代によって大きく違いが生じている。

(3) 道路の利便性・快適性に対する満足度 →問6 (複数選択可)

まあまあ満足が4割近くで最も多いものの、3割以上はやや不満、次いで2割弱が不満と回答している。年代別にみてもこの傾向とさほど違いはないが、地域別にみると、明科地域のみやや不満が最も多く45%を占め、まあまあ満足は3割弱に留まっている。

(4) 不足していると感じる道路整備の内容 →問7 (複数選択可)

最も多いのは歩行者が安全かつ快適に通行できる歩道の整備で全体の約6割の回答を得た。次いで多いのが自転車に乗る人が安全かつ快適に通行できる自転車道の整備で5割近くの回答を得ている。

地域別には、明科地域で歩行者が安全かつ快適に通行できる歩道の整備を選んだ人が7割を占めているのに対し、豊科地域、堀金地域では5割台に留まっている。

他方、幹線道路の整備は具体的な選択項目の中では最も低く、東西方向で2割強、南北方向では2割未満だった。年代別にみると、30、40代では幹線道路の整備を選ぶ人が全体よりは多く、とくに東西方向では3割程度の回答を得た。地域別には、堀金地域で東西方向の幹線道路を選ぶ人が相対的にやや多く、3割近くの回答を得ている。

(5) 道路整備の方向性として重要なもの →問8 (複数選択可)

交通弱者に配慮した道づくりが7割を超え、際だって多かった。次いで多いのは災害時に役立つ道づくりで約45%、歩行者優先の道づくりが約35%だった。年代別にみても、20、30代でも交通弱者に配慮した道づくりが約66%の回答を得た。地域別には、堀金地域・明科地域で第2位の災害時に役立つ道づくりが相対的にやや多く5割以上の回答を得ている。また明科地域では第3位の歩行者優先の道づくりが約56%で、他の地域よりも際だって多くなっている。

(6) 幹線道路として整備を優先すべき道路 →問9 (複数選択可)

市内から隣接する他の市町村につながる幹線道路が最も多く約35%、次いで市内の旧町村間をつなぐ幹線道路が約27%、本市と大町市や上田市、佐久市など広域をつなぐ高規格道路が約23%と続いている。これら上位3項目について地域別にみると、明科地域において、第3位の本市と大町市や上田市、佐久市など広域をつなぐ高規格道路が全体に比して少なく、明科地域では約12%に留まっている。

(7) 道路整備の効果として特に期待すること →問10 (複数選択可)

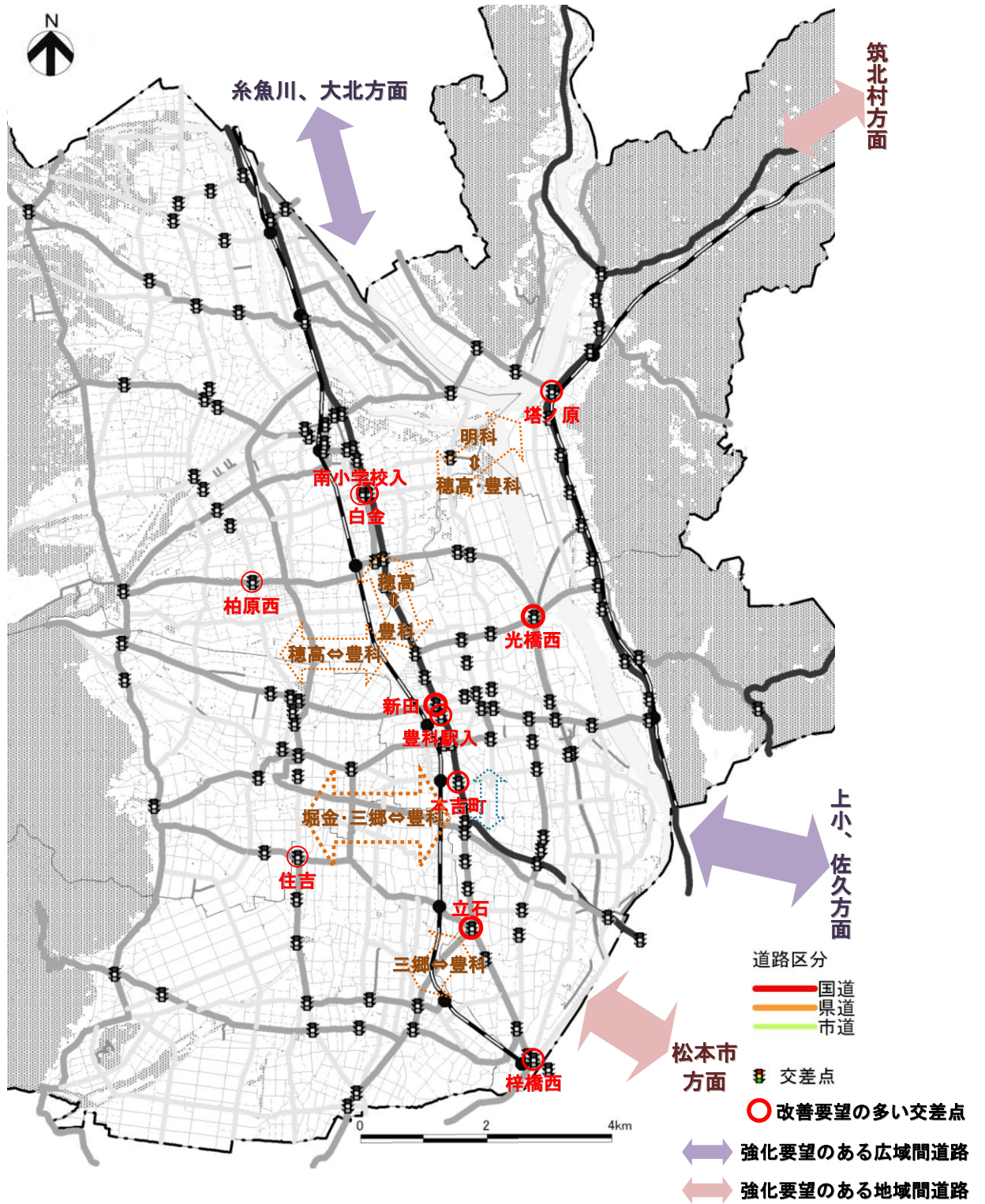
歩行者や自転車の通行の安全性の確保が6割以上の回答を得ている。次いで交通事故の減少が約46%、渋滞による走行時間の短縮が約41%となっている。他方、物流の円滑化や道路整備による土地等の資産価値の向上、市民相互の交流促進は1割未満の回答に留まりました。上位3項目は年代別、地域別ともに違いがなかった。

(8) より充実させるべき道路関係施設 →問11 (複数選択可)

街路灯や防犯灯の充実が6割近くの回答を得ている。次いでガードレールや信号機等の安全施設の充実が約43%、歩道の段差解消や点字ブロックの設置などのバリアフリー化が約36%となっている。年代別、地域別にみても上位3項目にほとんど違いはないが、第3位に駅付近の駐車場の充実が選ばれている地域(穂高地域・明科地域)もある。駅付近の駐車場の充実は全体でも決して少なくなく、約30%で第4位だった。

(9) 道路行政の取り組みにおいて重要なこと →問12 (複数選択可)

公共交通機関と連携した総合的な交通システムの構築、市民と行政が一体となって考える道路整備、厳選した新規投資と既存の道路施設の有効活用がいずれも4割以上の回答を得ている。年代別にみると、60歳以上では「車優先」から「人優先」への道路整備の転換が第3位に入っている。択一項目の投資のあり方に関する選択項目だけ抽出してその比率をみると、厳選した新規投資と既存の道路施設の有効活用が6割近くを占め、道路整備に対する積極的な投資の26%、最低限の新規投資の16%を大きく上回っている。



※上図は市民アンケートの問9の記述回答を整理・集計して図化したもの

図 4-1 市民の道路整備に関する具体的な意向・要望

4.3.2 交通事業者アンケートの結果分析

交通事業者アンケートの調査結果をもとに設問ごとに回答率の高い項目などからそれぞれの内容に関する傾向を分析する。

(1) タクシーの利用者 →問2 (択一回答)

「どちらかという市民又は近隣市町村の住民が多い」と「市民又は近隣市町村の住民がほとんど」と回答された方が合計約76%を占めている。

(2) 道路の利便性・快適性に対する満足度 →問4 (複数選択可)

市民アンケートの結果とはやや異なり、満足しているが最も多く約40%、次いでまあまあ満足しているが約32%で、合わせて7割以上を占めている。他方、やや不満は2割程度、不満は約4%に留まっている。

(3) 不足していると感じる道路整備の内容 →問5 (複数選択可)

第1位は市民アンケートでは上位3項目にも入っていない渋滞の解消、円滑な通行を促す右折レーンの設置などによる交差点付近の改良で5割近くの回答を得ている。次いで多いのが市民アンケートで第1位の歩行者が安全かつ快適に通行できる歩道の整備で、約46%、次いで多いのが自転車に乗る人が安全かつ快適に通行できる自転車道の整備で約43%だった。

(4) 幹線道路として整備を優先すべき道路 →問8 (複数選択可)

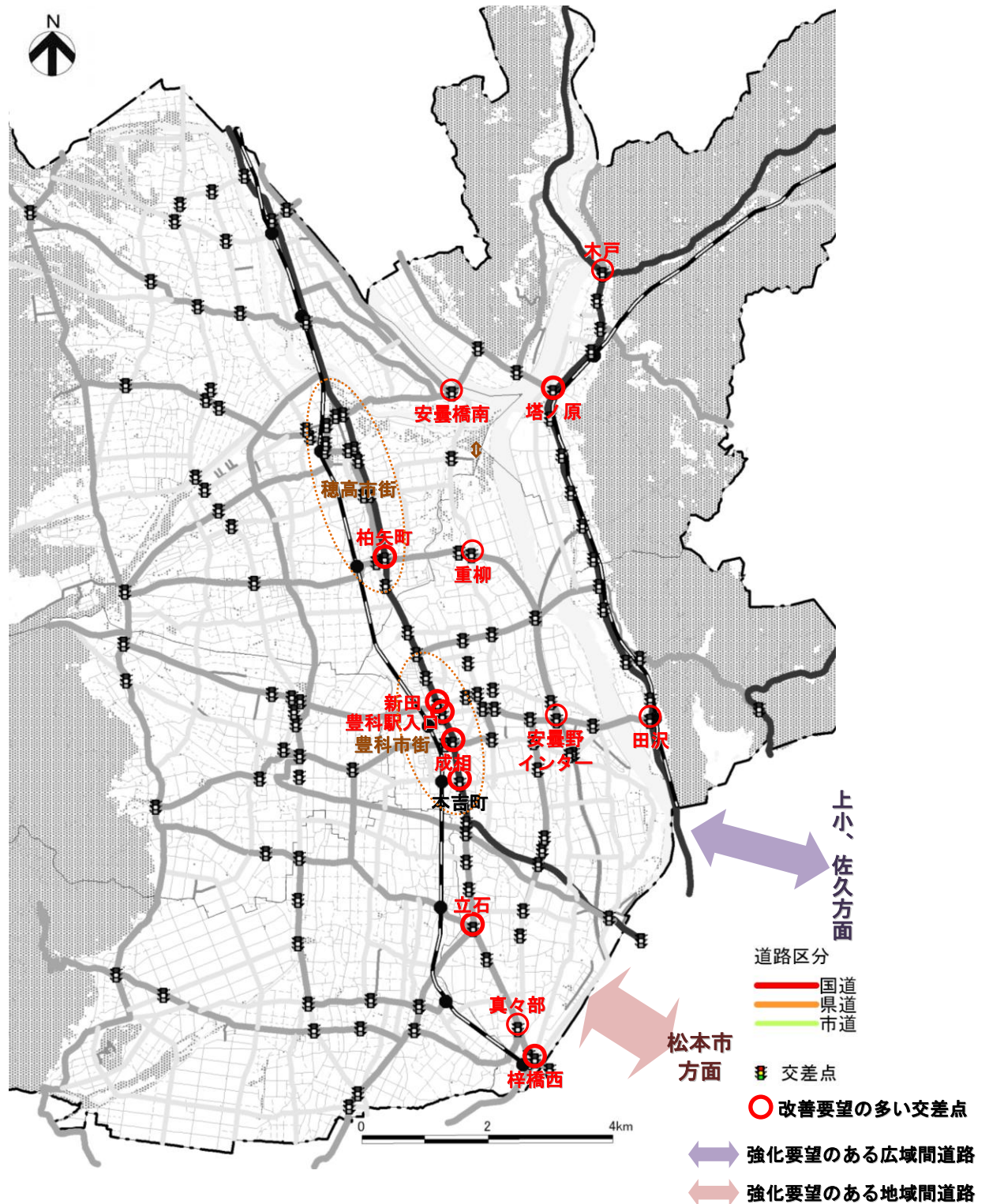
上位3項目は市民アンケートと相違ないが、それらの順位に多少違いがあり、市民アンケートで第3位の本市と大町市や上田市、佐久市など広域をつなぐ高規格道路が第2位だった。しかしながら、第3位の市内の旧町村間をつなぐ幹線道路との回答率の差はわずかだった。

(5) 道路整備の効果として特に期待すること →問10 (複数選択可)

市民アンケートの結果とは異なり、第1位は渋滞による走行時間の短縮で6割近くを占めている(市民アンケートでは第3位で4割程度)。次いで、歩行者や自転車の通行の安全性の確保で約48%、交通事故の減少が約38%となっている。運輸に関連する物流の円滑化は市民アンケートの回答率よりも多いものの2割弱となっている。

(6) より充実させるべき道路関係施設 →問11 (複数選択可)

市民アンケートの結果と同様に、街路灯や防犯灯の充実が第1位で約半分、次いでガードレールや信号機等の安全施設の充実が約32%となっている。第3位は市民アンケートとは異なり、電柱・電線類の地中化が入り、3割程度の回答を得ている。



※上図は交通事業者アンケートの間8の記述回答を整理・集計して図化したもの

図 4-2 交通事業者の道路整備に関する具体的な意向・要望